

## 具体的な選抜方法と、資質・能力との関係【詳細】

薬学研究科(博士課程)では、一般入試のほか、推薦入試、特別選抜入試、および社会人入試を実施し、多様で特色のある背景を持つ人材の受け入れを目指しています。また、入学試験では、プレゼンテーション、面接、英語筆記試験、研究概要、最終学校成績証明書、および推薦状を組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

### 一般入試

「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「科学的探究心・自己研鑽」は、プレゼンテーション、成績証明書と研究概要の審査、英語筆記試験、および面接で評価する。「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、および「国際性・多様性」は、面接で評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

### 推薦入試

本学薬学部を卒業見込みの学生を対象として、「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「科学的探究心・自己研鑽」は、プレゼンテーション、および研究概要と推薦状の審査で評価する。「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、および「国際性・多様性」は、プレゼンテーションと推薦状の審査で評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

### 特別選抜入試

本研究科において修士(薬科学)の学位を授与見込みの大学院生を対象として、「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「科学的探究心・自己研鑽」は、プレゼンテーションおよび研究概要の審査で評価し、「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、および「国際性・多様性」は、プレゼンテーションで評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

### 社会人入試

各種の研究機関、教育機関、官公庁、企業、病院、薬局などの正規の職員として勤務している人を対象として、「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「科学的探究心・自己研鑽」は、プレゼンテーション、および研究概要と成績証明書の審査で評価する。「コミュニケーション力」、「社会的責任感・倫理観」、および「国際性・多様性」は、プレゼンテーション、面接、および推薦状の審査で評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

2024年4月1日改正